

第16回神奈川産学チャレンジプログラム 実施要綱

一般社団法人神奈川経済同友会

はじめに

神奈川産学チャレンジプログラムは、一般社団法人神奈川経済同友会（以下、「同友会」という。）の会員が所属する企業および団体（以下、「企業」という。）と神奈川県内の大学が中心となっていく、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。

本プログラムは、PBL（Problem Based Learning）の手法を応用し、企業が抱える経営課題をテーマにあげ、それに対して学生チームが自主、能動的に研究して実践的で実効性のある解決策を研究レポートとして提示するもので、実社会で発生している問題に具体的にに取り組むことにより、問題解決能力の高い人材の育成につながります。

また、企業と学生とが1つのテーマに沿って交流を持ち、意思疎通を図ることにより、就職等でのお互いのミスマッチをなくし、学生にとっては生きたビジネスの世界を知り得ることとなり、企業にとっては学生のアイデアを事業のヒントとして活かせる好機ともなります。

I. 趣 旨

本プログラムは、企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを挙げ、神奈川県内に拠点を置く大学が中心となって、各テーマにチャレンジする学生を募り、提出された研究成果に対して企業が審査を行い、優秀なレポートについては企業、大学、学生等の関係者による表彰式において、その努力、才能を評するものです。

次の点が特徴として挙げられます。

1. 企業、大学、学生による産学連携の形で実施され、学生の自主的な参加による学生主体のプログラムです。
2. 多岐にわたるテーマは、社会・人文科学系あるいは技術系を問わず、学生にとり、広く研究が可能であり、企業の担当部署と連携して作業を進めていく過程が、学生個々の能力開発や自己啓発の場として活かされます。
3. 企業にとっては知名度のアップや学生の斬新なアイデアの取込み、優秀な人材の発掘、大学にとっては学内の活性化と企業が目指す方向性の認識等の波及効果が期待できます。

II. 経 緯

同友会の教育文化委員会では、平成14年5月、学生の職業や労働に対する意識と企業の求める人材とのギャップやミスマッチの解消のための諸施策を企業、大学へ提言しました。

平成15年1月末、県内5大学、すなわち横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学、神奈川大学、

東海大学との間で産学連携のあり方を検討するための「神奈川産学懇談会」を発足させ、その連携の一つの試みとして、学生の柔軟な発想・創造性を引き出すことを目的に、平成16年に「第1回神奈川産学チャレンジプログラム」をスタートさせました。その後、この事業は更に発展、充実し、大きな広がりを見せております。

平成30年に実施した第15回神奈川産学チャレンジプログラムでは、35の企業から37の研究テーマの提示があり、これに対して20大学、294チーム、1,150人の学生から応募をいただきました。そして、提出されたレポートに対する厳正な審査の結果、優秀なレポートを提出した68チームに対し、最優秀賞20、優秀賞48が決定され、企業、大学、学生等の関係者約500人参加による表彰式において、表彰状と褒章金が贈呈され、その榮譽を称えました。

Ⅲ. 実施概要

1. スケジュール

※日程が変更となる場合は、メール等にてご連絡します。

- (1) 参加大学募集ならびに参加企業募集・テーマ募集 → 2月14日募集開始、締め切り3月8日(金)
→ 昨年ご参加の大学・企業様には、同友会より、実施要領・細則、応募書類フォーマット等一式をお送りします。前年に比べ、募集期間が短くなっていますので、特に参加企業様に置かれましては、テーマの検討を早目にスタートしていただきますようお願いいたします。
また、同友会は、会員企業様に対し同友会HPを通じて、募集開始の周知をいたします。
- (2) 参加大学説明会、参加企業説明会の開催 → 大学3月18日(月)、企業3月14日(木)
→ 同友会は、参加大学および参加企業に対して、本プログラムの説明会を開催します。
- (3) 参加大学における学生チームの募集 → 募集開始は説明会以降、締め切りは4月26日(金)
→ 参加大学は、説明会終了後、学生チームに対して参加の募集を行い、学生チームの応募申込書を取りまとめ、締切日までに同友会へ提出します。開始、締め切りともに、前年よりも早くなっていますので、ご注意ください。
- (4) 研究テーマの決定 → 5月末までに決定
→ 同友会・参加企業・参加大学による調整を経て、学生チームに研究テーマを割り当て、その結果を参加企業および参加大学に報告します。学生チームが早期にレポート作成に取り掛かれるよう、前年に比べ、このプロセスを効率化します。
- (5) 参加企業による学生チームへの説明会 → 研究テーマ決定後から6月中旬までに実施
→ 参加企業は、テーマに関する説明会を、学生チームに対し速やかに実施してください。
- (6) 学生チームの研究レポート作成 → 作成期間は説明会終了後～9月末
→ 学生チームは、説明会終了後、9月末にかけて、研究レポートの作成を行います。完成した研究レポートは、9月末までを目途に所属大学に提出します。

(7) 参加大学より同友会に研究レポート提出 → 提出期日10月4日(金)

→参加大学は、提出された研究レポートをとりまとめて、期日までに同友会へ提出します。

(8) 参加企業による審査 → 審査期間は10月中旬～11月中旬頃を予定

→同友会より参加企業あて研究レポートを提出します。参加企業は、研究レポート受領後、11月中旬頃までにレポート審査、プレゼン審査を実施し、審査終了後、審査結果を同友会に提出していただきます。

(9) 同友会より審査結果を参加大学・学生に通知 → 11月下旬頃を予定

→同友会は、該当チームの審査結果を参加大学に通知します。参加大学は、審査結果を各チームに通知していただきます。

(10) 表彰式 → 12月17日(火)

→表彰式には、最優秀賞および優秀賞を受賞したチームを招待し、参加企業より賞状・賞金を授与していただきます。

2. 学生チーム編成

(1) 学生チームの構成人数は、原則として3～6人とします。

(2) 学生チームには、リーダーとサブリーダーを1人ずつ置いてください。

(3) 同じ学生が、複数のチームに所属することはできません。

(4) 研究テーマ決定後にメンバー変更のあった場合および途中棄権する場合、学生チームは、大学・企業に速やかにご連絡ください。なお、レポート提出後のメンバー増員は、やむを得ない場合を除き、認められません。

3. 研究テーマの決定

(1) 学生チームが取り組むテーマは、学生チームの希望をもとに、参加企業、同友会が選定します。

(2) 参加企業の受入チーム合計数を上回る応募があった場合は、大学に応募チーム数の調整をお願いすることがあります。調整後においても、最終的にテーマを割り当てられない学生チームが出てくる場合がありますので、予めご了承ください。

4. 審査

(1) 学生チームから提出されたレポートは、大学・同友会を経由して、参加企業に提出されます。企業提出後の内容変更はできません。

(2) 参加企業には、学生チームからのレポート受領後、遅滞なく審査を行っていただきます。審査スケジュールは、学生チームの学業も考慮しつつ、各参加企業がご決定ください。

(3) 審査方法・審査基準は、書類審査とプレゼンテーションを組み合わせ、各参加企業がご決定ください。なお、審査は必ず複数人で行うようお願いいたします。

(4) 参加企業は、審査結果を得点化し、入賞（「最優秀賞」、「優秀賞」）チームを選定してください。該当なしを含め、各賞の数は参加企業がお決めください。

- (5) 上記の賞以外に、参加企業が独自に表彰を行うことができます。また、同友会が独自に表彰を行うことがあります。
- (6) 参加企業は、入賞チーム、選外チームの如何にかかわらず、個別審査表の講評欄への記載等を通じて、学生への審査結果のフィードバックの充実に努めてください。

5. 費用負担

- (1) 参加大学、参加企業には、本プログラムへの参加費として、各6万円のご負担をお願いいたします。請求書は、10月下旬頃に発送させていただく予定です。
- (2) 入賞チームには、参加企業より賞金（最優秀賞10万円、優秀賞5万円、現金もしくは金券）を、表彰式にて授与していただきます。
- (3) 研究調査費は、各チームの自己負担を原則としますが、参加企業からの要請に基づき実施するもの等に関しましては、企業負担もご検討下さい。

6. その他

- (1) 参加大学、参加企業は、届出事項等の変更があった場合、学生チームからメンバー変更等の報告があった場合、その他運営上共有化しておいた方が良くと判断される事由が生じた場合には、速やかに同友会までご報告ください。
- (2) 参加企業は、学生の個人情報について厳正に管理し、本プログラム以外の用途でご使用にならないようお願いいたします。
- (3) 学生から提出されたレポートは、参加企業に帰属するものとします。
- (4) 知的財産権が発生する可能性がある場合、その取扱いについては、各参加企業にてご決定ください。

以 上

第16回神奈川産学チャレンジプログラム 実施細則（参加学生用）

一般社団法人神奈川経済同友会

1. 学生チームの募集

(1) 応募方法

- 参加大学は、4月3日頃に学生チームに対して、テーマ毎に参加の募集を行います。
- 参加を希望する学生チームは、「神奈川産学チャレンジプログラム 参加申込書（参加学生用）」および「テーマ・業種希望表」に記入いただき、所属する大学の指示に従い、提出してください。応募締切日は大学が設定しますので、大学の指示に従ってください。
- 申込書の記載に際しては、メールアドレスや電話番号の誤記入がないか再確認してください。記載に不備があると、企業からの連絡等に支障が生じますのでご注意ください。

第16回神奈川産学チャレンジプログラム 参加申込書（参加学生用）

第16回神奈川産学チャレンジプログラムの「実施要綱」、「実施細則」および「レポート作成規程」を了承のうえ、本プログラムに申し込みます。

【リーダー】

グループ番号	大学番号	大学名	人数	氏名（漢字）	氏名（ふりがな）	学部名	学科名	学年	電話番号	E-mail
--------	------	-----	----	--------	----------	-----	-----	----	------	--------

(注)

(半角数字のみ入力)

(半角数字のみ入力)

- グループ番号、大学番号は、同友会事務局で記入しますので、記入不要です。
- E-mailアドレスは、誤記のないよう確認してください。
- 指導教員は、いない場合は記入不要です。
- メンバー変更があった場合は、速やかに大学へ報告してください。

※右側にサブリーダー、他のメンバーの記入欄が続きます。

第16回産学チャレンジプログラムテーマ・業種希望表

大学名	チーム名	第1希望 テーマ番号	希望理由(400字以内)	チームのアピールポイント (200字以内)	第2希望テーマ番号(3つ記入)			希望業種番号(3つ記入) (業種分類表シート参照)		

業種番号	業種	対象企業
1	運輸	江ノ島電鉄、神奈川中央交通、京浜急行電鉄、京浜急行バス
2	金融・保険	SMBC日興証券横浜支店、神奈川銀行、かながわ信用金庫、川崎信用金庫、日本生命保険、横浜銀行
3	建設・設備工事	川本工業、京急建設、東急建設、ナイス、三好商会、ヨコソー
4	サービス・その他	ALSOK神奈川、LR小川会計、相鉄ホールディングス、マイナビ、山田債権回収管理総合事務所
5	商業・不動産	ウエルシア薬局、京急ストア、京急百貨店、湘南ステーションビル、横浜岡田屋、横浜新都市センター、横浜ステーションビル
6	製造業	一幸電子工業、大塚製薬横浜支店、崎陽軒、日本ピーマック、ミドリ安全神奈川支社

(2) 学生チーム編成

- ・実施要綱「2. 学生チーム編成」をご確認のうえ、チームをご編成ください。
- ・参加グループには、グループ番号を「G〇〇〇」という形で付番します。また、チームリーダーの苗字をチーム名とします（例：チームリーダー「鈴木二郎」の場合、「鈴木チーム」）。

(3) テーマ、希望業種の選択

- ・「テーマ・業種希望表」には、「第1希望テーマ（希望理由・チームのアピールポイント）」、「第2希望テーマ」、「希望業種」の欄があります。
- ・第1希望テーマにより、「第1次選定」を行います。まず、希望チーム数が受入チーム数内に収まった場合は、自動的に希望チームが当該テーマの研究チームとなります。次に、第1希望チーム数が受入チーム数を超えた研究テーマについては、各チームからの「テーマ・業種希望表」に記載された「希望理由・チームのアピールポイント」を考慮して、5月15日（水）までに参加企業が選定を行います（以上、第1次選定）。この際、希望理由・チームのアピールポイントが重要となりますので、チーム内で十分議論をつくして記入してください。
- ・第1次選定の選外チームに関し、「第2次選定」を行います。ここでは、記入いただいた第2希望テーマ、希望業種をもとに、受け入れ残枠のある企業の研究テーマのなかから、各チームの研究テーマを選定します。第2希望テーマ、希望業種は、それぞれ3つ記入できるようになっています。第1次選定から外れた場合には、こちらが重要な選定基準となりますので、必ず3つずつ記入してください。

(4) 留意点

- ・希望業種は、全ての参加企業を「運輸」、「金融・保険」、「建設・設備工事」、「サービス・その他」、「商業・不動産」、「製造業」の6業種に分類してあります。希望するテーマと同一業種を選んでも、希望するテーマと関係のない業種を選んでいただいてもかまいません。
- ・昨年は応募チーム数が参加企業の受入れチーム数合計を上回りました。今年も同様の傾向が予想されます。テーマ決定は、各チームの希望に沿った形で選定を進めていきますが、絶対数の問題で、最終的にご参加いただけない学生チームが出る可能性があります。
- ・応募の集中するテーマ・業種は、競争率が高くなりますので、チーム内で十分ご検討のうえ、希望テーマ、希望業種をご決定ください。

2. チームへの説明会

- ・最終的な選定結果につきましては、5月末までを目途に、同友会から、参加大学、参加企業あてご連絡させていただきます。各チームには、参加大学よりご連絡をいただきます。
- ・参加企業は、参加チームに対して6月中旬までを目途に説明会を実施いたします。参加企業より案内が来ますので、指示に従ってください。
- ・説明会では、企業概要、テーマ設定の背景、調査・研究のポイントと期待する内容、知的財産権の取扱い、審査基準、賞金の内容等について説明されます。

3. レポートの作成・提出

- ・レポートの作成期間は、チーム説明会後から、9月末までとなります。
- ・レポートは、必ず「第16回神奈川産学チャレンジプログラム レポート作成規程」に従って作成してください。
- ・提出締切日、提出方法は大学の指示に従ってください。
- ・提出されたレポートは、参加企業に帰属するものとし、返還はいたしません。
- ・知的財産権の取扱いについては、参加企業の指示に従ってください。
- ・各チームが提出したレポートの外部公開については、参加企業の指示に従ってください。

4. 参加企業の審査

- ・参加企業による審査は、10月中旬から11月中旬頃を予定しています。
- ・審査方法、評価方法等は、企業ごと異なります。プレゼンテーション審査を行う場合の日程等を含め、詳細については、「第16回神奈川産学チャレンジプログラム 提示テーマ集」およびチームへの説明会で参加企業にご確認ください。

5. 審査結果の通知

- ・参加大学は、各チームに対して11月下旬に「個別審査表」により審査結果を通知します。
- ・個別審査表には、入賞（最優秀賞、優秀賞）または選外の記載があります。入賞のうち、最優秀賞・優秀賞の別は、表彰式にて発表いたします。

6. 表彰式

- ・入賞チームは、12月17日に開催予定の表彰式にご招待させていただきます。
- ・表彰式に空き席がある場合には、選外チームの見学も可能です。希望される場合は、大学を通じて、同友会宛ご照会ください。

以 上

第16回神奈川産学チャレンジプログラム レポート作成規程

一般社団法人神奈川経済同友会

1. レポートの構成

レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順に構成してください。

(1) 表紙 (1 ページ)

表紙には、グループ番号、テーマ提示企業名、テーマ名、大学名、チーム名、リーダー、サブリーダー、それ以外のメンバー全員の氏名・学部・学科・学年それぞれ記載してください。

(2) 目次 (2 ページ)

ページ1枚で作成してください。

(3) 要旨 (3 ページ)

本文に記載したことをページ1枚にまとめてください。

(4) 本文 (4 ページ以降)

本文枚数は、15 ページ以上 20 ページ以内の間でまとめてください。なお、この枚数には表紙、目次、要旨、注釈・資料は含みません。

(5) 注釈・資料

注釈・資料は10 ページ以内にしてください。また、参考文献や引用については、必ず出所・出典を明記してください。

2. レポートの作成

・レポートの作成に際し引用を行う場合は、以下の文化庁ルールに従ってください。

ア 既に公表されている著作物であること、

イ 「公正な慣行」に合致すること

ウ 報道、批評、研究などのための「正当な範囲内」であること

エ 引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること

オ カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること

カ 引用を行う「必然性」があること

キ「出所の明示」が必要（コピー以外はその慣行があるとき）

- ・捏造、改ざん、盗用等、不正があった場合は失格となります。

3. レポートの体裁

- ・表紙は、本規程添付のフォーマットをご使用ください（フォーマットの体裁は変更不可）。グループ番号は、神奈川経済同友会より大学宛通知された番号です。テーマ番号およびテーマ名は間違いのないように記載してください。
- ・ページ番号は表紙を1ページ目とし、ページ下部中央にふってください。
- ・レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順番とし、1つのPDFファイルにまとめてください。
- ・PDFのファイル名は、「テーマ番号+グループ番号+大学名+チーム名」としてください。
→（例）T08G021 青学山本チーム、T02-1G145 専修木村チーム
- ・テーマ番号、グループ番号を「半角」、大学名、チーム名を「全角」としてください。

4. レポートの提出

- ・レポートの提出方法は大学の指示に従ってください。
- ・提出締切日は大学が設定しますので、それまでにご提出ください。
- ・一度提出したレポートの内容変更はできません。
- ・レポートを大学に提出する前に、「提出レポートチェック表（学生用）」にてセルフチェックを行って、不備のないことを確認してください（チェック表は提出不要）。当規程に反するレポートは、失格となることがあります。

第16回神奈川産学チャレンジプログラム 研究レポート

グループ番号	
--------	--

企業名		テーマ番号	
テーマ名			

大学名		チーム名	チーム
-----	--	------	-----

※チーム名はリーダーの苗字です

<メンバー>

【リーダー】

氏名					
学部名		学科名		学年	

【サブリーダー】

氏名					
学部名		学科名		学年	

【メンバー】

氏名					
学部名		学科名		学年	

氏名					
学部名		学科名		学年	

氏名					
学部名		学科名		学年	

氏名					
学部名		学科名		学年	

提出レポートチェック表（学生用）

チェック日 _____

グループ番号 _____

チーム名 _____ チーム _____

項目	チェック (レ)
レポートの表紙は所定のフォーマットを使用し、記載事項がもれなく記入されているか	
目次・用紙は各 1 ページ、本文は 15 ページ以上 20 ページ以内、注釈・資料は 10 ページ以内となっているか	
本文のページ下部中央にページ番号をふっているか	
レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順番とし、ひとつの PDF ファイルにまとめられているか	
PDF ファイル名は「テーマ番号+グループ番号+大学名+チーム名」となっているか (※)	
チームメンバーが報告なく、変更となっていないか (→報告ない場合は、速やかに大学に報告)	

→すべてにチェックが入ったことを確認して大学に提出

- (※) (例) T08G021 青学山本チーム、T02-1G145 専修木村チーム
テーマ番号、グループ番号を「半角」、大学名、チーム名を「全角」としてください。

大学名は以下の略称でご記入ください。

大学名	略称	大学名	略称
青山学院大学	青学	専修大学	専修
神奈川大学	神大	東海大学	東海
神奈川工科大学	神工	東京都市大学	都市
鎌倉女子大学	鎌女	東洋英和女学院大学	東洋
関東学院大学	関東	フェリス女学院大学	フェリス
國學院大學	國學	文教大学	文教
相模女子大学	相模	明治大学	明治
産業能率大学	産能	横浜国立大学	横国
松蔭大学	松蔭	横浜商科大学	横商
清泉女子大学	清泉	横浜市立大学	横市